

2024年12月20日
SCSK株式会社

CAE システム運用改善サービスの提供を開始 ～HPC クラスタシステムの運用業務効率化と課題解決を実現～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、CAE^{*1} が稼働する HPC^{*2} クラスタシステムの運用業務を効率化する「CAE システム運用改善サービス」の提供を開始します。

SCSKが提供する CAE に関するシステム構築、ソフト販売、教育・トレーニング、受託解析ソリューションに加え、CAE システムの新規運用構築や既存運用の品質改善までのサービスを提供することで、企画から設計、構築、およびアプリ、インフラの維持や運用改善まで一気通貫のサービスとしてお客様業務を最適化します。

※1:Computer Aided Engineering。設計段階でコンピューターを利用して流体の流れ、熱伝導などをシミュレーションする解析技法

※2:High Performance Computing。他のコンピューターをはるかにしのぐ速度でデータを処理し、計算を実行するソリューション

1. 背景

製品開発では、市場や顧客のニーズに合わせた設計が求められる中、多くの試作によるコスト増や設計期間の長期化が課題となっており、物理的な試作回数の削減や開発期間の短縮など、製品開発プロセスの効率化を実現する CAE の重要性が製造業を中心に高まっています。また、CAE によるプロセス効率化の実現には、短時間で解析を完了するための高い計算処理速度を有する HPC クラスタシステムの導入が不可欠です。しかし、その導入や運用には高額なコストや高度な専門知識が必要です。そのため、多くの企業はシステムリソースの有効活用や人材確保に課題を抱えています。

SCSKは、数百ノードを超える HPC クラスタシステムの導入から、多数のジョブを効率的に管理する PBS や Slurm などのジョブスケジューラ、流体解析・構造解析をはじめとする多種類の CAE 解析ソフトウェアが導入されているシステムの運用実績があります。CAE システムの運用を通じて、製造業の現場や研究部門の成功を実現するために、本サービスの提供を開始します。

よくある課題	CAEシステム 運用改善サービスなら!
『現状行われているCAEシステムの運用の課題がわからない』 見直しの進め方もわからない・・・』	SCSK独自のツールを使用したアセスメントより、課題からのTo-Beモデル、改善計画の策定が可能。
『自分のジョブがいつ実行されるかわからない』『いつも待たされると利用者からクレームをもらう!』	システムの利用状況を把握し、サービスの提供に問題がないかを監視。ジョブの優先度の変更や一時的なキューの設定変更などを実施します。
『解析アプリケーションがたくさんあり、利用されているバージョンやライセンスの管理ができていない!』	CAEソフトウェア、ライセンスマネージャのインストールやバージョンアップに対応。ライセンスの期限を管理し、発行依頼および更新作業を行います。
『いま運用している計算環境は有効に活用できているのか心配!』	計算環境を有効に活用するために、稼働状況を把握し稼働率を高めるための改善策の提案を行います。

2. CAE システム運用改善サービスの概要と特徴

アセスメントによる現状分析および課題抽出から、運用標準化に向けた構築、CAE システム独自の維持運用、SLA 策定など継続的な改善まで網羅的に実行するサービスです。

特に、利用者の多い大規模システムにおいて、効果的なリソース活用状況の把握や多種多様な利用者からの問い合わせ対応に課題を抱えている企業に対するサービスメニューを用意しています。これにより、日常的な運用業務から HPC クラスタシステムでの専門的な課題解決まで CAE システム全体の効率と効果を最大限に引き出します。

サービス特徴

- 新規運用構築、および運用アセスメント

新規運用構築では、SCSK開発標準であるSE⁺(SmartEpisode Plus)を活用し、運用文書、運用体制、運用ツールを整備します。これにより、当社が定義する「運用のあるべき姿^{※3}」を実現していきます。

また、運用アセスメントでは、既存の CAE システム運用に対し当社独自ツール「HEARTIL Easy Checkup^{※4}」を活用した As-Is 詳細調査を行い、現状課題を把握した上で「運用のあるべき姿」を実現するための改善計画を策定します。

※3:SCSK開発標準SE⁺では「運用のあるべき姿」を、“品質の高い IT サービスを提供”、“IT サービスと運用を継続的に改善”、“レポート、SLA など、IT サービスや運用を可視化”と定義

※4:お客様が提供されるサービスの管理実施状況を可視化・分析するSCSK独自のツール（200 社以上の調査実績）

- 維持運用

システム利用者からの問い合わせ対応、CAE 解析ソフトウェアのインストールやライセンス管理などのシステム維持に必要な運用業務や障害対応を行うことで、運用担当者の負荷軽減や属人化、高齢化による人材不足を解消します。

- 継続的な品質改善に向けた伴走支援

一時的な運用改善や日常的な維持運用だけでなく、外部環境要因などで変化するお客様のニーズに適応したサービス品質(SLA)の策定や継続的なモニタリング・評価を行うことで、保有する計算環境の稼働率を高めるための施策提案などのサービス品質改善を図ります。

サービスの詳細については、以下をご確認ください。

<https://www.scsk.jp/product/common/cae-service/>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

基盤ソリューション事業本部 モビリティサービス部

E-mail: CAEService-info@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。